

# 顔認証アルコールチェックシステム

顔認証サーマルカメラとアルコール検知器のシステム連動

# ■ 道路交通法改正

自動車を使用する事業所は **安全運転管理者の選任が必須** です!

安全運転管理者の

選任

一定台数以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠(事業所等)ごとに、自動車の安全な運転に必要な業務を行う者として**安全運転管理者の選任**を行わなければなりません。

自動車の保有台数に応じて副安全運転管理者の選任が必要になります。  
安全運転管理者・副安全運転管理者になるには一定の要件があります。



乗車定員が11人以上  
の自動車1台以上

または



その他の自動車5台以上  
※自動二輪車(原動機付自転車を除く)  
は1台を0.5台として計算

安全運転管理者の

業務



交通安全教育



運転者の適性等の把握



運行計画の作成



交替運転者の配置



異常気象時等の措置



点呼と日常点検



運転日誌の備付け



安全運転指導

安全運転管理者の

届出

- 安全運転管理者等を選任した時は、その日から15日以内に事業所を管轄する警察署に必要書類を提出してください。
- 安全運転管理者の制度に関するご不明点は、都道府県警察のホームページをご覧ください。どうか警察署へお問い合わせください。

**罰則：5万円以下の罰金**



令和4年  
4月より

安全運転管理者による  
運転者の**運転前後のアルコールチェック**が  
「**義務化**」されます。

令和4年  
4月1日施行

- ✓ **運転前後の運転者の状態を目視等で確認**することにより、  
運転者の酒気帯びの有無を確認すること
- ✓ 酒気帯びの有無について記録し、  
**記録を1年間保存**すること



令和4年  
10月1日施行

- ✓ 運転者の酒気帯びの有無の確認を、  
**アルコール検知器※を用いて行う**こと
- ✓ アルコール検知器を **常時有効に保持** すること

※記録内容(1年間保管)

1. 確認者名
2. 運転者
3. 運転者の業務に係る自動車登録番号  
又は識別できる記号、番号等
4. 確認の日時
5. 確認の方法
  - ・アルコール検知器のしよりの有無
  - ・対面でない場合は具体的方法
6. 酒気帯びの有無
7. 指示事項
8. その他必要な事項

# ■ アルコール検知器について

アルコール検知器は呼気中のアルコール濃度を判別する「センサー」が内蔵されており、大きくは半導体式ガスセンサーと電気化学式(燃料電池式)ガスセンサーの2つに分けられます。

アルコールチェッカーの見た目が似ているものでも、アルコール濃度の測定原理に特性があり、それぞれ使用にあたって、メリット・デメリットがあります。

センサー方式	測定原理	メリット	デメリット
半導体式ガスセンサー	センサー表面に付着する酸素量によってセンサー内部の電気抵抗値が変動。 電気抵抗値が低いほど呼気中のアルコール濃度が高いと判定されます。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 価格が安い</li><li>・ 小型で携帯性に優れる</li><li>・ 測定時間が短い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ アルコール以外のガスに反応することがある</li><li>・ 測定精度が悪い</li><li>・ 周囲の環境に影響を受けやすい</li><li>・ 寿命が短い(1000~2000回測定)</li></ul>
電気化学式センサー (弊社採用)	呼気に含まれるアルコールガスを燃料として電気を発生させ、アルコール濃度を測定。 電気の発生量が多いほど呼気中のアルコール濃度が高いと判定。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 測定精度が良い</li><li>・ 寿命が長い(1~2万回)</li><li>・ アルコール以外のガスに反応しにくい</li><li>・ 周囲の環境に影響を受けにくい</li><li>・ 警察でも採用している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 価格が高い</li><li>・ 吹き込み方式だと測定時間が少し長い</li><li>・ 半導体式ガスセンサーよりも大きいので携帯性は劣る</li><li>・ 定期校正頻度: 1年</li></ul>

道路交通法ではアルコール検知器の仕様は規定していないので、精度が悪い半導体ガスセンサー式を使用しても問題はない。しかし、「アルコール検知器を常時有効に保持することについて「常時有効に保持」とは、正常に作動し、故障がない状態で保持しておくことをいう。このため、アルコール検知器の製作者が定めた取扱説明書に基づき、適切に使用し、管理し、及び保守するとともに、定期的に故障の有無を確認し、故障がないものを使用しなければならない。」ということが明記されているので、保守メンテが可能な電気化学式センサーを採用した方が安全である。

# ■ 製品構成

## 卓上スタンド

希望小売価格：188,000円(税別)



卓上スタンド

顔認証サーマルカメラ

アルコール検知器

## フロアスタンド(ホルダー付き)

希望小売価格：198,000円(税別)



ホルダー

フロアスタンド



USBポート

# ■ イメージ図（出発／帰着時共通）※帰着時もアルコールチェックが必要

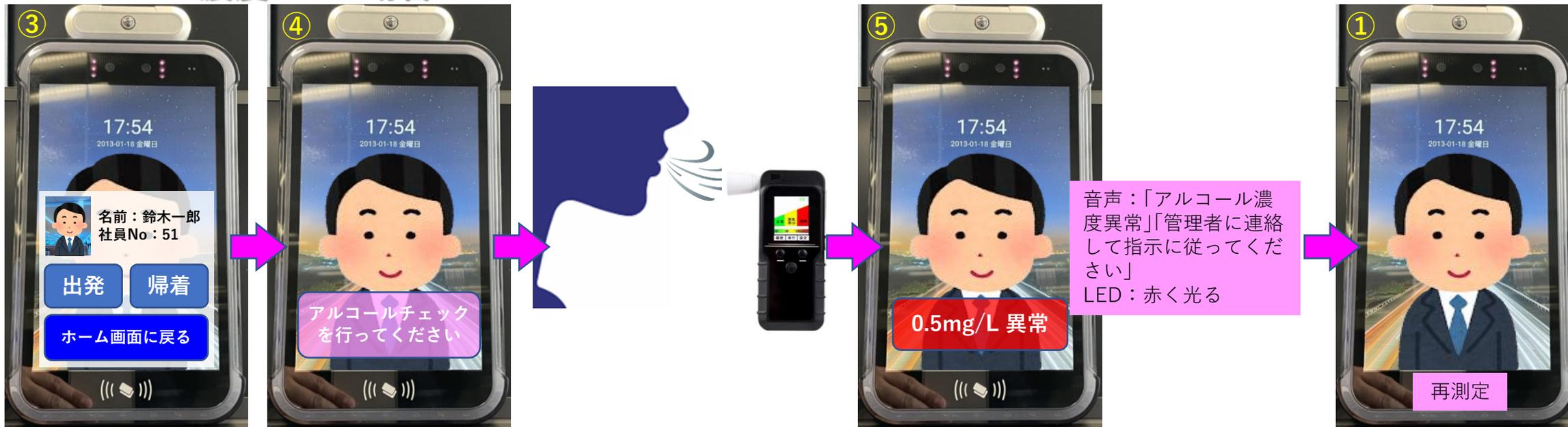


## ■体温NGの場合



- ・異常時もログは残す。
- ・異常時は管理者にメールで連絡（オンライン時のみ）
- ・音声ON/OFF、音量を設定できるようにする。
- ・LED発光ON/OFFを設定できるようにする。
- ・異常時の画面表示時間を設定できるようにする。

## ■アルコール濃度NGの場合



■ 動画

OK



NG



## ■ログ出力

名前	社員No	Date	Time	体温	出発/帰着	アルコール	車ナンバー	確認者	検査場所	確認方法
鈴木一郎	51	2022/3/1	9:05	36.0	出発	0.0	品川か533 1234	織田信長	社内	
松井秀喜	55	2022/3/1	9:08	36.2	出発	0.0	品川さ335 5678	織田信長	社内	
大谷翔平	17	2022/3/1	9:18	36.8	出発	0.0	横浜た513 9012	織田信長	社内	
鈴木一郎	51	2022/3/1	17:05	36.1	帰着	0.0	品川か533 1234	徳川家康	社内	
松井秀喜	55	2022/3/1	18:11	36.5	帰着	0.0	品川さ335 5678	徳川家康	社外	ビデオ通話、ポータブルアルコール検知器
大谷翔平	17	2022/3/1	19:33	36.6	帰着	0.0	横浜た513 9012	徳川家康	社外	ビデオ通話、ポータブルアルコール検知器

## ■事前に登録/設定する内容(本体、パソコンのどちらでも設定可能)

- ・会社情報(社名、支社/支店/営業所名)
- ・社員情報(氏名、社員番号、写真)
- ・営業車情報(車種、ナンバー)
- ・確認者情報(氏名)
- ・アラームの設定(体温、アルコール濃度)

## ■クラウドサービス

大企業向けにクラウドサービスを展開する予定。  
各拠点のログをクラウドに保存して本社で管理できるようになる。  
2022年9月末リリース予定

**Q: 直行or直帰の場合など、対面での確認が困難な場合はどうするのか？**

**A: 道路交通法に準ずる適宜の方法で実施すればよい。**

e-GOV パブリックコメント:「道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令案」等に対するご意見及びこれに対する警察庁の考え方について  
<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000226695>

例えば、運転者に携帯型アルコール検知器を携行させるなどした上で、

- ①カメラ、モニター等によって、安全運転管理者が運転者の顔色、応答の声の調子等とともに、アルコール検知器による測定結果を確認する方法
  - ②電話等によって、安全運転管理者が運転者の応答の声の調子等を確認するとともに、アルコール検知器による測定結果を報告させる方法
- のような方法で実施すれば、改正後の道路交通法の業務に該当する。

⇒本システムでの対応方法

安全運転管理者はパソコンの管理者専用画面から手動で入力できるようにする。

いずれは、スマホアプリを開発して、直行直帰者はスマホアプリで対応できるようにする。

開発時期:2022年9月末予定

# ■ 他社比較

写真			
メーカー	NHPソリューション(株)	(株)レッツコーポレーション	(株) AioTcloud
製品構成	顔認証端末+アルコールチェッカー+スタンド	顔認証端末+操作用タブレット+アルコールチェッカー+スタンド	スマホ+アルコールチェッカー(別売り)
検出センサ	電気化学式ガスセンサ	電気化学式ガスセンサ	電気化学式ガスセンサ
認証方式	顔認証	顔認証	顔写真を管理者が確認
記録内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 確認者名</li> <li>2. 運転者</li> <li>3. 運転者の業務に係る自動車登録番号 又は識別できる記号、番号等</li> <li>4. 確認の日時</li> <li>5. 確認の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール検知器の使用の有無</li> <li>・対面でない場合は具体的方法</li> </ul> </li> <li>6. 酒気帯びの有無</li> <li>7. 指示事項(温度、マスク検知)</li> <li>8. その他必要な事項</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運転者(+社員番号)</li> <li>2. 確認の日時</li> <li>3. 確認の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール検知器の使用の有無</li> <li>・対面でない場合は具体的方法</li> </ul> </li> <li>4. 酒気帯びの有無</li> <li>5. 指示事項(温度、マスク検知、ワクチン接種状況)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運転者</li> <li>2. 確認の日時</li> <li>3. 確認の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール検知器の使用の有無</li> <li>・対面でない場合は具体的方法</li> </ul> </li> <li>4. 酒気帯びの有無</li> <li>5. 指示事項(位置情報)</li> </ol>
メリット デメリット	メリット:高機能検知、全項目自動記録、少額固定資産 デメリット:据え置き	メリット:一部項目自動記録 デメリット:近距離顔認証、固定資産	メリット:リモート、一部項目自動記録、経費計上 デメリット:なりすまし可能
価格	フロアスタンドセット:19.8万円 卓上スタンドセット:18.8万円	約30万円程度	初期費用1.65万円+900円/(人・月) +アルコール検知器(別売):3~4万円

中央自動車工業株式会社 SC-502  
 フィガロ技研株式会社 FALC-31